

学年	高校1年	教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2
教科書名	地理総合（東京書籍）			副教材名	高等学校地図帳（帝国書院） 新詳地理資料 COMPLETE（帝国書院）		
コース クラス	選抜・N進						

I. 目標

1. 地理におけるさまざまな諸事象を多角的かつ的確に捉えるために、地図や各種資料を用いて効果的な地理力を養う学習を行う。
2. 世界の多様な生活文化の違いを理解するために、地形・気候などその地域の自然環境、農業や鉱工業をはじめとする産業構造を歴史的背景も含め、地理的視点を養う学習を行う。
3. 地理の諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、自国の国土や自然に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。
4. 模試での得点力と日本大学基礎学力試験や上位私大の入試問題に対応できる実力を身に着ける。

II. 授業のねらい

1. 探究学習（萩・広島研修、IP）と連携を図りながら、着眼点・探求力・解決力を養う。
2. 地理を通じた視点から政治、経済、国際関係、文化生活、地球科学等の幅広い素養を身に着ける。
3. 暗記のみに終わらず、理論的考察から理解する地理力を養う。

III. 授業の進め方

1. 受験を意識した過去問を授業の理解度に応じて提示し、地理において必要な事項を確認する。
2. 地図から得られる情報を大切にし、地図を読めるように毎時積極的に使用する。
3. 2年次以降の地理探求と受験を視野に入れた情報を提供し、学期毎に小テストを実施しつつ知識の定着を図る。

IV. 学習上の留意点

1. 授業の予習より復習を重視し、学習した内容はその日のうちに確認すること。
2. 授業プリントを使用するが、教科書・地図帳等の教材準備は確実にすること。
3. 興味をもって授業に参加し、無関心で消極的な科目にさせないこと。

V. 定期試験

- | | |
|-----------|---|
| 1学期 期末試験 | : 地図や地理情報システム 世界の民族と言語 世界の地形（大地形・多様な地形） |
| 2学期 中間試験 | : 世界の植生と気候 農業 |
| 2学期 期末試験 | : 工業 地球環境問題 資源エネルギー問題 人口問題 |
| 3学期 学年末試験 | : 食料問題 居住・都市問題 民族問題 防災 |

VI. 評価の方法

各定期試験、学期毎の小テスト、各種課題の提出状況や出席した授業参加の状況等を総合的に判断して評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標	
一学期	4	第1編 地理や地理情報システムでとらえる現代世界	小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。 ・地図やGISを用いて、情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 ・一般図と主題図の目的や用途を理解し、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察する。 ・地域による多様な文化・慣習の違いと、その背景にある民族性、宗教性を考察して理解する。 ・多様な文化の違いの背景にある自然環境や歴史的背景、社会環境を理解する。 ・自国のみでなく他の文化をも尊重し、国際理解を図ることの重要性などについて理解する ・多様な習慣や価値観を持っている人々と共存していくことの意義を理解する。 ・地球の構造と大地形・小地形の形成を理解し、人間活動や自然環境との結びつきを考察する。 	
	5	第2章 地図や地理情報システムの役割 第3章 資料から読み取る現代世界			
	6	第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解 2節 生活文化と自然環境 ①地形			
	7				小テスト 期末試験
二学期	9	3節 生活文化と自然環境 ②気候 風の流れと降水の季節変化 世界の植生と気候	小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・大気の大循環によって生じる気圧帯を知り、降水・気温の地域的（緯度上）差異から気候区分を理解する。 ・ケッペンの気候区分を理解する。 ・雨温図とハイサーグラフを理解する。 ・農業や工業の立地条件を様々な要素から考察する。 ・近代農業の種類と自給的農業と輸出を前提とした企業的農業の存在と、アグリビジネスの世界展開を理解する。 ・資源の一次産品と工業生産のグローバル化を理解する。 ・産業革命以降に進行しているさまざまな環境問題を学び、それぞれが相互に関連し合っていることを理解する。 ・環境問題の解決には、複数の立場や意見があることを理解した上で、持続可能な社会の実現に向けてどのような協力が必要かを考察する。 ・資源の偏在性と資源ナショナリズムを理解する。 ・原発の問題と新しいエネルギーの現状を理解する。 ・途上国の多産多死から先進国の少産少死のメカニズムを理解し、将来における我が国の人口問題を考察する。 	
	10	4節 生活文化と産業 諸農業の特徴 工業立地の特徴			
	11	第2章 さまざまな地球課題と国際協力 1節 地球環境問題			中間試験
	12	2節 資源・エネルギー問題 3節 人口問題 日本の人口問題			小テスト 期末試験
三学期	1	4節 食料問題 食糧問題の解決に向けて 5節 居住・都市問題 6節 民族問題	小テスト 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的にどのような食料問題を抱えているかを理解し、その要因について考察する。 ・途上国の食糧不足と先進国の飽食の背景を理解し、我々がどのように取り組むことで解決できるかを考察する。 ・都市への人口集中と地方の過疎化を踏まえ、世界各地でおきている都市問題を理解する。 ・世界の民族問題を理解し、なぜ民族問題が起こるのかその歴史的背景を考察する。 ・地球課題の解決には、各国の取組や国際協力が必要であることを理解する。 ・災害を引き起こす自然現象と社会的脆弱性との関係を踏まえて、地域の防災の在り方を考察する。 ・自然災害に関する一般的な知識を身に付けた上で、自然災害を自分事としてとらえて防災意識を高める。 	
	2	民族問題をどう乗り越えるのか			
	3	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 2節 さまざまな自然災害と防災			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の状況により変更することもある。

※ 大学受験を前提に系統地理の基本事項を優先するため、第2編から導入した。